



住吉教会 2012年度テーマ
「殉教者の霊性を生きる」
—信仰刷新の年—

イエスのみ心

赤波江 豊 神父

6月は伝統的にイエスのみ心の月とされてきました。今年のイエスのみ心の祭日は6月15日（金）です。昔は盛んにみ心の信心も行われ、み心の名前をいただいた学校や団体もたくさんありました。しかし現在はみ心に対する崇敬や信心はあまり行われなくなってきました。その理由のひとつはイエスのみ心のイメージにあるかも知れません。理由は分かりませんが伝統的にイエスのみ心の絵画や像は厳しい顔をしたイエスの胸にいばらの冠をのせた生々しい心臓の姿で描かれてきました。私も子どもの頃家にこのイエスのみ心の絵があり怖いと思っていました。しかしこのイメージはある時代にある人が描いた限定的なものではありません。だいいちイエスのみ心はそんなに人を怖がらせたりするようなものなのでしょうか。福音書が示すようにイエスのみ心は本来放蕩息子のたとえ（ルカ15章11節）の父親のように人が罪に陥ってもただ人を赦すこと、愛することだけを求めている心、疲れた者や重荷を負う者を休ませる心（マタイ11章28節）で、決して人を恐怖に陥れるようなものではないはずです。そうであれば多くの方が疲れ切り、生きる意味を失いかけている現代、特に年間約3万人の人が自ら命を絶っている現代日本においてこそこのイエスのみ心を再確認しそこに立ち返る必要があるでしょう。昔のようなみ心の信心を再び行う必要は必ずしもありませんが、困難に直面して率直に父のもとへ帰ろうと思った放蕩息子のように、このみ心の月にあたって特に単純に神のもとへ立ち返る恵みを願いましょう。信仰とは本来単純なものですから。

感謝献金について

私たちは誕生から始まって受洗、七五三、入園、入学、初聖体、堅信、入試、成人式、就職、結婚など人生の節目で神様からたくさんのお恵みをいただいています。このお恵みに対する感謝の気持ちを献金という形で神様に表すこともできます。あらゆる場で神に感謝をささげましょう。（赤波江神父）

2012年5月度 カトリック住吉教会評議会議事録

日 時: 2012年5月12日(土) 14:00 ~ 16:00
場 所: 第2会議室
出席者: 赤波江神父・評議会メンバー

はじめの祈り: 赤波江神父

5月を迎えました。5月は聖母月です。私達の信仰の希望である聖母マリアが私たちの歩みを守って下さいますように。今年は私たちにとって記念すべき年でもあります。

長崎の信徒発見は今から147年前になりますが、その時浦上の信徒が最初に言った言葉は「サンタマリアの像はどこですか」と云う一言でした。隠れキリシタンたちはその聖母マリアをひとつの目じるしとして救いを求めています。私たちも日本二十六聖人列聖150周年の記念の年をマリア様と共に歩んでいきましょう。一緒に“アベマリアの祈り”を捧げましょう。

I 議題

今後の日程確認:

- ・ 5月13日(日) テレマン・アンサンブル バイブルハウス支援コンサート 15:00~神戸中央教会
- ・ 5月20日(日) ベロー神父送別会 鈴蘭台教会
大阪教区国際協力の日 11:00~大阪カテドラル他
- ・ 5月27日(日) 松浦司教様 司牧訪問(ミサ司式)
ホームページ委員会 11:00~
- ・ 5月30日(水) 星光ビル管理(株)による清掃
- ・ 6月8日(金) 日本二十六聖人列聖150周年記念ミサ 15:00~河原町教会
- ・ 6月9日(土) 京都方面へバスによる巡礼
現在住吉教会申し込み者27名 神戸中央にも呼びかけをした。
- ・ 6月14日(木) 茶話会
- ・ 6月23日(土) 小教区評議会 14:00~
- ・ 7月1日(日) 神戸地区宣教司牧評議会 14:00~ 北須磨教会
- ・ 7月12日(木) 茶話会
- ・ 7月14日(土) 小教区評議会 14:00~
- ・ 7月24日(火)
~25日(水) 教会学校キャンプ

II 審議事項

1. お知らせのあり方

前回神父様から提言があり、ミサは非日常、霊的な世界なので、お知らせが長引くのはミサの余韻をなくすので閉祭の歌が終わってからお知らせをする。しばらくこの形で試みる。

2. 幼稚園園庭への門扉開閉当番

トウアンさんが居なくなったので門扉開閉当番を決める。

駐車登録証を発行。車をよく乗ってくる人を中心に決める。まずは評議会役員から。

5月当番

5/13 Ng 5/20 Yu 5/27 Uz (継続審議)

3. バザーについて

- ・10/14 神戸中央教会バザー ・10/21 ミラグロス予定(Cj 氏に確認する)
- ・10/28 住吉教会バザー決定 ・バザー実行委員会を決める。
今年も売上金は全額東北大震災支援金を寄付する。

4. 平日の受付当番 (継続審議)

- ・午前 9:30 ~12:00 午後 13:00 ~16:00 迄
- ・電話対応 ・宅配便の受取り 等
- ・二人で組む ・金品の要求や、無理な訪問販売はお断りする ・募集用紙を貼る。
- ・三木ホールか OA 室を使用する。(OA 室は人の出入りが見えないのでカメラのモニターを付ける案あり)

5. 各チームのメンバー募集

- ・呼びかけだけでは人が集まらないのでチーム募集の貼り紙をして名前を記入してもらおう。
- ・チームの中で仕事の分担が曖昧なところもあるのでチームの中の仕事を整理してから募集した方が
良いのではないかと。茶話会、ミサゴをチームに入れる。(継続審議)

III 各チーム長報告、提案

幼稚園(M): 園庭にある桜の木が枯れてきているので伐採あるいは移植をするべきかどうか
教会の了解を得たいと思う。

Km: 新しい信徒の紹介は

赤波江神父様→議長→司牧(Yu さん)の連絡順であるが
信徒の動静を司牧から地区長にも連絡して貰えると教会のことを詳しく説明できるし、
新しい信徒との交流を図るために司牧チームの役割を兼ねた地区長が良いと思う。

宣教チーム(Tj): ミサの後に「走れイエス」山浦玄嗣のビデオを放映したい。

社活チーム(Kj): 炊き出しの保険 (カリス保険 1 年分)

チーム募集の呼びかけはチームの活動の報告を聞いて頂くことからにしたい。

教会学校チーム(Uk): 教会学校にトゥアンさんが顔を出してくださっているので交通費を検討したい。

7/24~25 六甲自然の家 キャンプ予定

青年学生チーム(代 Kb): 8/11~13 日生中央教会 キャンプ予定

人数が分からないけれど愛徳姉妹会のカナの家とナザレの家が 30 名までなので足りない時は住吉
教会を使わせていただきたいと思います。

IV その他

神戸地区宣教司牧評議会報告(Km):

「ふっこうのかけ橋プロジェクト」を立ち上げた。福島の子供たちが夏休みに来た時に住吉教会として教会学校を
通してお母さんたちに給食のお手伝いが必要とのこと。垂水教会が中心になって募集している。

また、「ふっこうのかけ橋プロジェクト」の募金を実行委員会に 7/1 迄に送金する。

福島の子供たちが来た時の交通費・合同キャンプのミサ(司教司式)等の費用となる。

住吉教会は 6/10 (日)に募金を行う。(社活の日本大震災被災者支援金とは別)

終わりの祈り: 赤波江神父

以上